

・学校の概要

学校名	赤来町立赤来中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数 13
学級数	1	2	1	0	4	
生徒数	25	41	32	0	98	

・実践研究の概要

1. 研究主題（テーマ）

生きる力をはぐくむ確かな学力の育成  
〈キャッチフレーズ〉

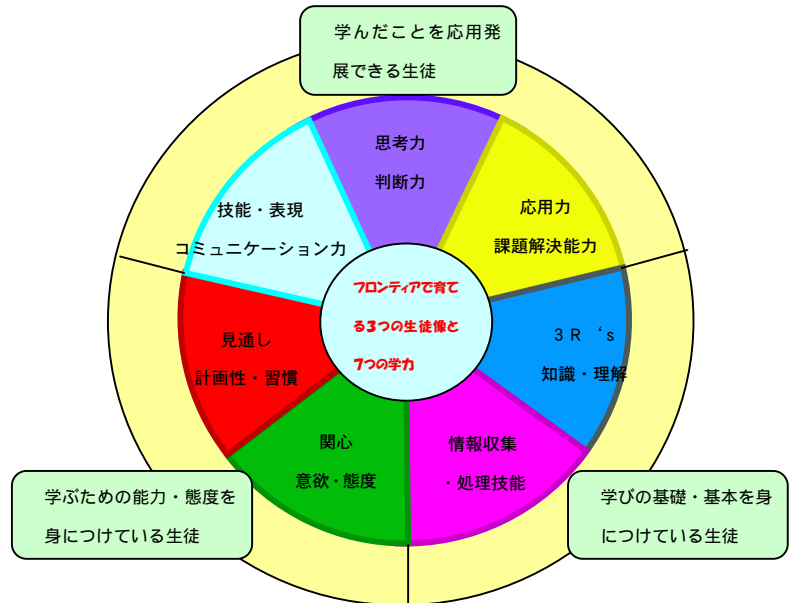
学ぶ意欲を高め、個々の確かな学力をの  
ばす、学力向上レインボープラン  
～めざす生徒像・学力を教師と生徒  
が共有することで～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年を対象に英語、数学(理科、  
社会)の必修教科における T.T指導  
英語、数学、国語の選択教科における  
T.T指導、少人数指導、その他選択教  
科における課題追究、補充、発展学習  
など教育課程の工夫と中高一貫教育に  
よる連携を生かした高校の教員との  
TT指導・少人数指導。

本校は飯南高校との中高一貫教育で  
あるため中学校から高校まで継続的・系統的に学力を積み上げていくことが大切な英・数・国を研  
究の中心教科として位置付けた。また、全校体制として取り組む上からも育てる学力を共通理解し、  
全教科、全学年を研究の対象とした。とりわけ全校体制で取り組むことのできる選択教科のあり方  
について重点的に研究を進めた。



選択教科に対する考え方	赤来中	ひとりの教員で1教科につき複数コースを設定してやりたい	指導法		教材		評価の観点	評価の方法
			指導体制	グループ編成	メソッド	どんな教材で		
選択A (マスターA)	ジックリ	補充学習	国・数・英1年	TT少人数習熟度	マスターシート	関心意欲 知識理解	A シートの評価 (ポートフォリオ) B 教師による観察 C 自己評価(アンケートを含む)	
			国・数・英2・3年	TT少人数習熟度	マスターシート			
社・理2年			TT	マスターシート				
社・理3年			TT	マスターシート				
選択B (マスターB)								
選択C チャレンジ	ウキウキ	発展学習	音・美・体・技・家 2・3年	一斉	発展的教材	関心意欲 技能表現	A 作品・レポート・ 発表の評価 B 教師による観察 C 自己評価(アンケートを含む)	
選択D (ベストA)	ルンルン	課題学習	国・社・数 3年	一斉	個人の課題に応じた 教材を選択	関心意欲 思考判断	A 作品・レポート・ 発表の評価 B 教師による観察 C 自己評価(アンケートを含む)	
選択D (ベストB)			社・理 3年					

## (2) 年次ごとの計画

## 1 年次(平成14年度)・・・研究計画の策定・研究実践

- めざす生徒像の設定 (KJ 法により)
- めざす生徒像に対する本校の生徒の現状 (AAI・CRT・教師の観察など)
- 生徒の現状の原因分析
- めざす生徒像に迫る手立て

## 研究実践

(指導法・教材開発・評価研究ほか)

## 研究内容・方法

- ア 発展的な学習や補充学習など個に応じた学習教材の開発について
  - ・ 中高一貫教育における中学校側の到達目標を明確にした英語と数学のマスタシートの作成
  - ・ 少人数指導(英語)・T T 指導(数学)における個の課題や目標に応じた発展的・補充的教材の開発
  - ・ 選択教科における教材の開発(課題追究型・補充型・発展型)
- イ 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善について
  - ・ 習熟度別のクラス編成(英語、選択教科の一部) 1～3 年
  - ・ 中高一貫教育による高校の教員と中学校教員による効果的な T T 指導法の研究(数学・英語) 1～3 年
  - ・ 授業と家庭学習の効率的なサイクルの確立
- ウ 生徒の学力評価を生かした指導の改善について
  - ・ 個の課題と目標がわかる学習評価システムの開発・・・**レインボーチャート**  
(単元ごとのガイダンスと自己評価を生かした評価の研究開発)
  - ・ 評価規準・基準の研究開発(整備完了・郡内の中学校に配布済み)
- エ その他の取り組みについて
  - ・ 学習のしおり作成「学習の心構え」「家庭学習の方法」など
  - ・ 朝読書実施中(毎朝 10分)
  - ・ 放課後の補習・夏休みの勉強合宿 3 年生(飯南高校と合同で 7 月 30 日～ 8 月 1 日実施)
  - ・ 各種検定(英検・漢検)へのチャレンジ
  - ・ 家庭との連携(少人数授業の公開・個別面談については実施・意識調査)

## 実践研究の成果の評価方法

- ・ 学力調査(CRT・AAI・学力テスト・自作単元テスト)
- ・ アンケート(生徒・教師・保護者)
- ・ 研究実践の公開

## 2 年次(平成15年度)・・・研究実践・計画の見直し

## 研究実践

(教材開発・レインボーチャートを生かした指導と評価の一体化の研究ほか)

生徒の変容の調査

研究計画の見直し

## 研究内容・方法(平成14年度からの継続はのぞく)

- ア 発展的な学習や補充学習など個に応じた学習教材の開発について
  - ・ 各必修教科における教材開発(中高一貫教育における中学校側のミニマムを設定した英語・数学・国語のマスタシートの作成と発展的教材の開発)
  - ・ 少人数指導・T T 指導における教材の開発
  - ・ 個に応じた選択教科の開設と教材の開発(課題追究型・補充型・発展型)
- イ 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善について
  - ・ 習熟度別のクラス編成(英語、選択教科の一部)
  - ・ 効果的な T T 指導法の研究(数学・国語)
- ウ 生徒の学力評価を生かした指導の改善について
  - ・ 個の課題と目標がわかる学習評価システムの活用、修正・・・**レインボーチャートの活用**
  - ・ 選択教科(マスターコース)における自己評価アンケートの実施
  - ・ 評価規準・基準の見直しと単元ごとのガイダンスと自己評価を生かした評価の研究開発
- エ その他の取り組みについて
  - ・ 朝読書の時間の見直し(毎朝 10分)
  - ・ 長期休業中の学習会(サマースクール・ウインタースクール)・・・大学生チューターの活用

## 実践研究の成果の評価方法

- ・ 学力調査(CRT・NRT・AAI・学力テスト・自作単元テスト)
- ・ アンケート(生徒・教師・保護者)
- ・ 研究実践の公開(学力向上フロンティアスクール地区協議会にて)

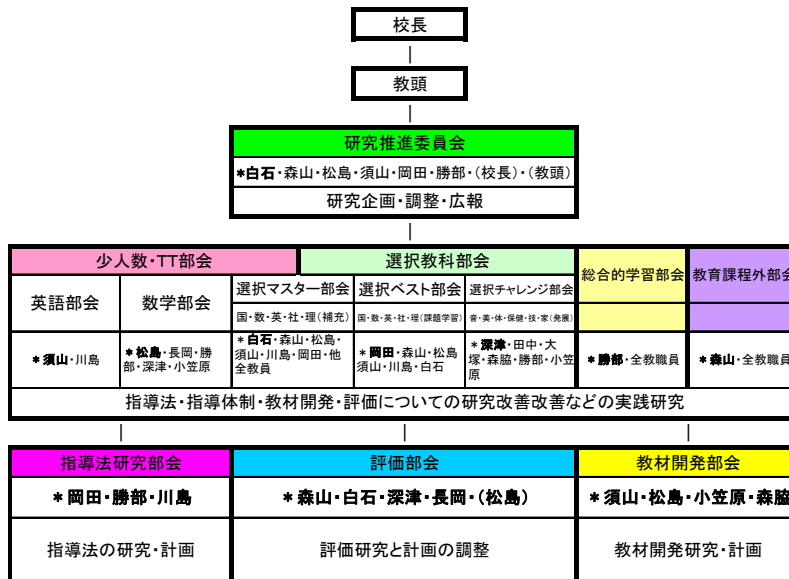
3年次（平成16年度）・・・研究実践・研究のまとめと評価

研究実践  
 （指導法・教材開発・評価研究ほか）  
 生徒の変容の調査  
 研究のまとめと評価

（4）研究推進体制

フロンティアスクール 研究推進体制

平成15年度 赤来中学校 研究推進体制



平成15年度の研究の成果および今後の課題

(1) 研究の成果

I 評価

**見える目標と評価(生徒、保護者、教師から)＝レインボーチャートによる個の学力をとらえる評価システム**  
 育成したい学力を7つの観点から分析し、明確化した。これにより7つの学力の実現状況を個々にチャート化する評価システムを開発し・活用することができた。さらに生徒、教師、家庭が情報を効果的な形で共有することができた。

II 教材

**自作教材の開発＝マスターシート、能力アップ教材の作成**

学ぶ意欲の向上と生徒の主体的な学習を重視し、基礎・基本の確実な定着が図れるような個に応じた自作教材を作成した。また、関心・意欲を高め、反復練習や適切なフィードバックを行うことにより、着実な成長が自覚できる教材を作成した。

III 指導法

**個に応じた学習形態と指導法＝中高一貫教育を生かした全教員による組織的なT.T.指導**

指導体制は選択教科、数学、英語におけるT.T.指導。高校教員と中学教員とが2～5名のチームで、計画的、組織的な習熟度別指導を実施した。これにより学習の形態は一斉学習はもとより習熟の程度に応じたコース(課題)別学習や個々の能力に応じた自由進度学習などを授業の中で効果的に組み入れることができ、生徒一人一人に目標や達成感を持たせることができた。



国語



数学

選択教科による T.T.指導の授業の様子



英語

IVその他

- 1 教職員の指導力の向上を目指して、**広島県の塾および予備校を視察するとともに、広島県のフロンティア校を夏休みに全教員で視察した。**・・・**指導力向上のための職員研修の充実**

①学習塾 田中学習会

〒738-0035 広島県廿日市市宮園2-1-14

授業参観・・・中学2年生対象 数学(一次関数)27名  
 中学2年生対象 理科(消化酵素)12名  
 中学3年生対象 社会(地理・日本の特色)25名  
 私立中学1年生 英語(夏休みの学校の宿題)マンツーマン指導  
 高校生 数学(二次関数・コサイン)教師1対生徒2(個別)



②予備校 東進衛星予備校広島駅前校

〒732-0821 広島市南区大須賀町14-12

授業参観・・・個別ビデオ学習(個人別カリキュラム)  
 授業体験・・・実力有名講師の衛星授業(英語の速読トレーニング)



## 2 サマースクール・ウィンタースクール(長期休業中の学習会)・・・大学生チューターの活用

### 赤来中学校 学力向上ウィンタースクールのお知らせ

赤来中学校学力向上委員会

学力向上フロンティア事業の一環として、夏休みに続き、冬休み中も下記のような学校開放の学習・質問教室を計画しました。今回は本校の教員に加えて本校出身の大学生にもお手伝いいただく予定です。この機会にわからないところを気軽に質問したり、楽しく勉強して欲しいと考えています。たくさん生徒のみなさんの参加を待っています。

1. 趣旨 生徒の学力向上を図るため冬休み期間に、自主学習のための施設開放と教員・大学生(卒業生)による学習サポートを行う。
2. 期間 冬休みの前半2日間・後半2日間の合計4日間  
12/25・26と1/6・7
3. 時間 午前 9:30-12:00の2時間半
4. 場所 赤来中学校 2F教室
5. 指導 赤来中学校教員と大学生
6. 対象教科および学習内容  
\* 国・数・英の3教科  
\* 冬休みの各教科の宿題や授業で使うワークをもって来ての自主学習  
わからないところは質問して教えてもらう
7. その他 今回は事前に参加希望を取りたいと思います。



**冬休みも学校は君たちを待っている!**  
勉強のために解放します。  
そして先生方と先輩大学生が君たちの学習をサポートします  
・・・冬休みをコタツにあたって TV を見ているだけにしたくない!  
・・・精進正しい生活と学習で冬休みジャンプアップ作戦!



### (2) 今後の課題 (今後の方向)

7つの学力をバランスよく伸ばしていくために各教科・分野で、具体的な手だてを明らかにし、それを重点化して、研究実践をさらに積んで、その成果を広く普及していく。

レインボーチャートのより効果的な活用法(生徒・保護者への説明も含めて)・・・指導法および教材

必修教科と選択教科、総合的な学習の時間をリンクさせより効果的な学力向上への取り組みを探る・・・指導法および教材

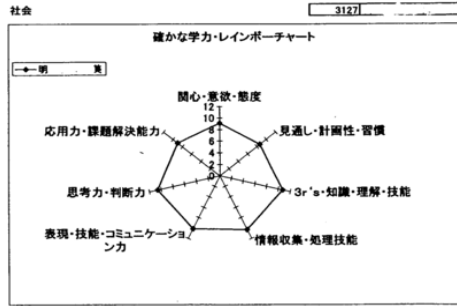
学校での学習で意欲を高めて、家庭学習とのサイクルを確立する方策

### ・学力把握のための学校としての取組

標準学力検査(NRT・AAIは4月実施・CRTは3月予定)を全学年で実施し、全国との比較を行った。その他の学力テストを実施し、調査した。

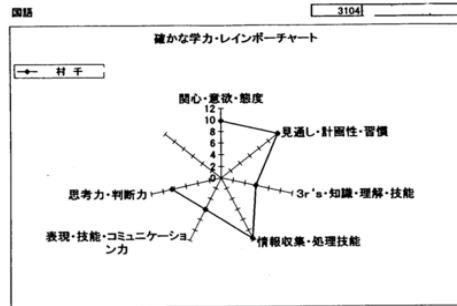
評価のシステムソフトを開発によってすべての教科において、7つの学力に対する評価をグラフ化した**レインボーチャート**を生徒一人一人に作成した。このレインボーチャートにより、生徒一人一人への指導の重点を明確化することができた。また、生徒の自己評価に活用し、生徒自らが課題や目標を見つけていけるように指導した。

# 実際に活用したレインボーチャート例



関心・意欲・態度  
・中間・関心  
・含めrep. 意欲  
・ニュース日記意欲  
見通し・計画性・習慣  
・ニュース日記見通し  
・提出物ノート  
3r's・知識・理解・技能  
・中間・知識  
・期末・知識  
・三種分立の習  
情報収集・処理技能  
・期末・資料  
・ニュース資料活用  
・三種分立の習  
表現・技能・コミュニケーション力  
・総合  
・三種分立の習  
思考力・判断力  
・中間・思考  
・期末・思考  
・含めrep. 思考  
応用力・課題解決能力  
・含めrep. 思考  
・総合

2学期の反省と感想を書きましょう  
①今学期の学習でがんばった点を書きましょう  
・政治の学習(国会・内閣・裁判所)について  
覚えるのが大変だったけど図に表したり  
書いていくのがわかるようになった。  
\*経済の学習について  
グループでみんなが協力して取り組めた。  
学習の内容は難しかったけど、  
ノートにまとめたりにかかっていた。  
②今学期の学習で、成長した点(成長した点、できな  
かった点)があれば書きましょう  
ニュースを毎日見てニュース日記を書こうと  
思う。授業やテスト勉強にがんばって  
取り組んで  
③学期を振り返り、学習してきた感想を書きましょう  
もっと発言や発表すればよかった。  
グループさんは楽しみなから学んだ。  
④学習をとおして、関心を持ったのはどんなことですか  
政治のしくみや国会・内閣・裁判所  
がどのように国民と関わっているのかについて



関心・意欲・態度  
・授業態度  
・ワーク  
見通し・計画性・習慣  
・習題・提出物  
3r's・知識・理解・技能  
・中間・期末  
・中間・期末・書取会・読書  
情報収集・処理技能  
・聞き取り  
表現・技能・コミュニケーション力  
・感想文  
・作文・表現  
思考力・判断力  
・作文

2学期の反省と感想を書きましょう。  
①今学期の学習で頑張った点を書きましょう。  
宿題も提出物も「よかったです」でした。  
②今学期の学習で成長した点を書きましょう。  
成長した点、できなかった点など  
関心を取り戻すという意欲がわいた。  
表現・技能・コミュニケーションなどが  
前より下になっていて  
作文は、こうでよかったと思う。  
③3学期に頑張りたいこと、自分の目標を書きましょう。  
3学期も、提出物も、きちんとして、  
5r'sをもっとあかせる。  
1r'sの書き方をもうちょっとよくできたい。  
1r'sを思い出す。

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 地域との連携の推進、情報発信について
- 公開授業(少人数習熟度別クラス)の実施
- 学校だよりによる説明、研究実践集録の発刊、ホームページによる公開
- URL:<http://www.town.akagi.shimane.jp/akagichu/>
- 他校との連携の推進、情報発信
- 中高一貫教育による飯南高校との連携
- 町内各小学校との情報交換(8月26日 町教研で懇談会を実施)
- フロンティアスクール地区協議会での授業公開(9月19日実施)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4~6学級  
7~9学級  10~12学級  
13~15学級 16学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T.Tによる指導  
その他
- 【研究教科】 国語 社会  数学 理科  
 外国語 音楽 美術 技術・家庭  
保健体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有 無